

目標達成計画

作成日： 令和5年4月30日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	33	重度化や終末期に向けた方針を明確にした文章を作成し、入居時に利用者・家族に説明することが求められる。	重度化した時・終末期に向けた方針の明確化された文章を整理し、入居時に利用者や家族に説明できるようにする。	入居当初に「みんなの光 入居時の事前確認書」の作成は行っているが、入居時点では利用者がお元気な事で重度化した時の事を考える時期ではないと家族は思っているため、明確な答えが出せないケースもある。しかし、入居の先に見えてくる大切なことである為に、利用者の体調にあわせ時期を検討し、利用者・家族と今後の話し合いを持ち、重度化・終末期に向けた明確な方針を文書化していきたい。	6ヶ月
2	35	夜間は職員が一人体制になる事や、周囲が暗く環境が変わるため、夜間を想定した訓練を行い、どのような動きをするか手順を確認し、迅速、且つ適切な行動につながる事を期待したい。	夜間は職員が一人体制であるために、迅速かつ安全に避難が出来るために、具体的な手順を確立し、適切な行動が出来るように行うようにする。	グループホームの建物が病院敷地内の丘の上であり、災害等があっても法人内での自助活動で協力し合い活動を行ってきたことから、グループホームが一人夜勤であっても病院からの応援を呼ぶという体制がつくられてきた。しかし、昼間も夜間も同じ対応のもとに活動してきている。今までの手順を昼間・夜間と別に作り替え、迅速な活動が出来るように体制・手順を見直し、訓練を実施するようしていく。	10ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。